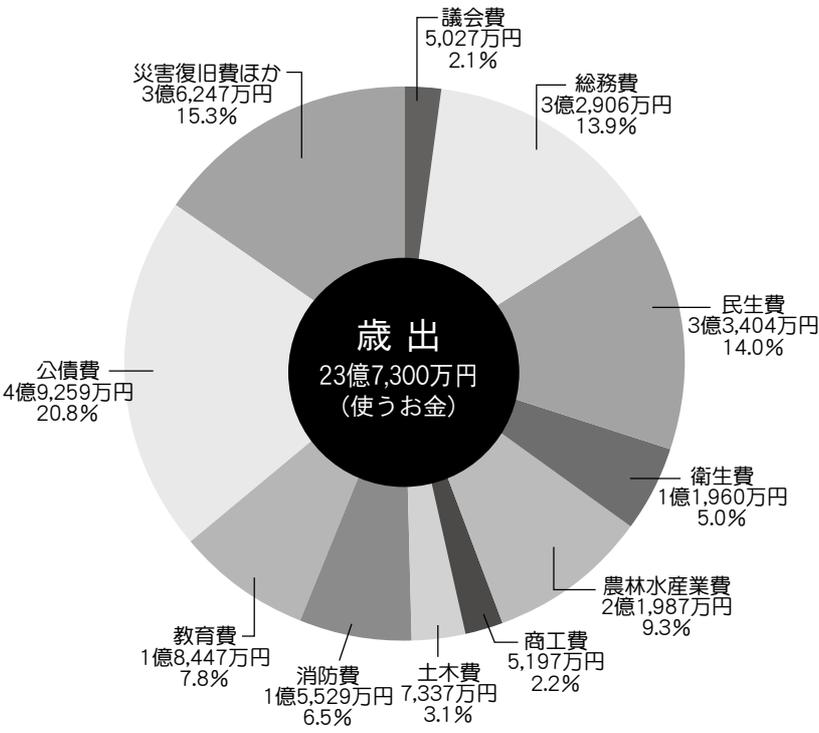


北緯40度の小さな村の大きな未来づくり

官民協働で創意と工夫



経費の徹底した節減、事務事業の見直し、事業の緊急性や優先度を検討し確保した一般会計予算23億7300万円。北緯40度東端の小さな村の大きな未来づくりのため、官民協働で創意と工夫を凝らし事業を進めます。ここでは、歳出がどのようなものに使われるかを見えます。

**公債費は
約2千万円の減**

歳出(支出)を目的別に見ると、国や県などへの借金返済のための公債費が最も多く4億9259万円(20.8%)となっています。これは漁港や役場庁舎など

を建設した際の借金の返済分ですが、前年度より2099万円も減っています。行財政改革プログラムにより計画的に借り入れをし返済しているため、年々減っています。続いては災害復旧費の3億6129万円(15.3%)です。昨年12月の大雨災害による漁港3件、村・林道22件、

河川12件の復旧工事をします。これは国からの補助と地方債(借金)、基金(貯金)で賄います。3番目に多いのは、少子高齢社会に対応した子育て支援、福祉サービスなどの民生費3億3404万円(14%)です。続いては村有財産管理や役場庁舎などの管理のための総務費3億2906万円(13.9%)です。総務費は電気、電話、水道、コピーの使用料など徹底した経費節減などで前年度より6509万円少なくなっています。